PREPARATION NOTE / 自分の条件を書き出す

脱サラ前の資金整理シート

家計と事業の支払いを分けて、準備したい金額を整理します。
相場や推奨額は入っていません。自分の見積書・家計記録で確認した数字を記入してください。

01 条件を記入する

金額：円 / 期間：か月

今、計画に使える手元資金 使えない預金や、まだ確定していない借入・給付金を含めない。		円
毎月の生活費 住居費・食費など。税・保険料は、ほかの欄と重ねて計上しない。		円/月
毎月の事業支出 家賃・仕入れ・通信・返済など、事業の月々の支払い。生活費と分ける。		円/月
毎月、計算に入れる確実な収入 事業分は経費を引く前の確定入金。給与などは使える受取額。未確定の売上は含めない。		円/月
計算する期間 自分で決めた期間を整数で記入。期間中の月々の支出・収入は同額として扱う。		か月
初期費用の合計 設備・契約時の支払いなど、一度だけ必要な金額。月々の支出と重ねない。		円
期間中の、そのほかの一時支出 未計上の税・保険料・更新費など。計算上は開始時に全額を確保する。		円
期間の最後に残したい予備資金 使わずに残したい金額を、自分の条件で決める。		円

02 2ページ目の式で計算して、記入する

月々に補う不足分	期間全体の準備額	手元資金と準備額の差
円	円	円

このPDFは自動計算しません。金額は半角数字で記入し、不足する差額はマイナス（-）で表します。
対応するPDF閲覧ソフトで入力できます。印刷して手書きでも使えます。空欄は未確認、「0」は金額がないと確認できた項目だけに使います。

退職・開業の可否や将来の収入を判定するものではありません。支払日と入金日のずれは、別の月別表でも確認してください。

PREPARATION NOTE / 計算と確認

計算するときの順番

書き込んだ条件を、次の3つの式で整理します。
事業の入金と支出、月々の支出と一時支出の重複に気をつけてください。

1 月々に補う不足分

生活費 + 事業支出 - 確実な収入

結果がマイナスなら0円にします。収入が支出を上回る分で、初期費用を減らす計算はしません。

2 期間全体の準備額

初期費用 + 一時支出 + 月々の不足分 × 期間 + 予備資金

毎月の生活費・事業支出・収入を、計画期間中ずっと同じ額として計算します。

3 手元資金と準備額の差

手元資金 - 期間全体の準備額

マイナスなら入力条件に対する不足額、プラスなら準備額を上回る金額です。

03 記入の確認

- [ ] 見積書・家計記録など、入力した数字の根拠を用意した
- [ ] 事業分は経費控除前の入金額を記入し、同じ経費を二重に引いていない
- [ ] 初期費用・一時支出・月々の支出に、同じ支払いを重ねていない
- [ ] 希望する売上を分け、支払日・入金日を別の月別表でも確認する

税金・社会保険・融資・給付制度の額や受給可否は、このシートでは計算しません。
季節差や入金の遅れ、途中の残高不足も、この簡易計算だけでは分かりません。

確認した資料・日付と、まだ分からない項目のメモ